



## Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service、 リリース 11.5(1)SU5—SU11 の互換性マトリックス

[Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service の互換性マトリックス](#) 2

[マニュアルの変更履歴](#) 2

[ソフトウェア バージョン](#) 2

[アップグレードパス](#) 4

[Unified Communications Manager の互換性情報](#) 7

[IM and Presence Service の互換性情報](#) 21

改訂：2022年10月21日

# Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service の互換性マトリックス

## マニュアルの変更履歴

日付 (Date)	リビジョン
2018年9月19日	IM and Presence Service に LDAP ディレクトリのサポートを追加
2019年12月19日	リリース 11.5(1)SU7 の初版ドキュメント
5月2020年5月21日	リリース 11.5(1)SU8 の初版ドキュメント
2020年12月15日	リリース 11.5(1)SU9 の初版ドキュメント
2020年12月15日	11.5(1)SU9 でバージョンサポートを更新
2020年12月15日	Cisco Webex Teams の名前を Webex アプリに変更
2021年6月7日	リリース 11.5(1)SU10 の初版ドキュメント
2021年6月7日	11.5(1)SU10 でバージョンサポートを更新
2021年12月1日	表 12 の DRS クライアントでサポートされる暗号/アルゴリズムを更新
2022年4月7日	リリース 11.5(1)SU11 の初版ドキュメント
2022年4月7日	11.5(1)SU11 でバージョンサポートを更新
2022年4月7日	Webex Desk Hub および Webex Wireless Phone 800 Series のサポートを追加

## ソフトウェアバージョン

次の表に、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service の以下のリリースでサポートされているソフトウェアの全バージョンを示します。

リリース	完全バージョン番号
リリース 11.5(1)SU5	<ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco Unified Communications Manager 11.5.1.15900-18</li><li>• IM およびプレゼンスサービス 11.5.1.1.15900-33</li></ul>

リリース	完全バージョン番号
リリース 11.5(1)SU6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager 11.5.1.16900-16</li> <li>• IM and Presence Service 11.5.1.16910-12</li> </ul>
リリース 11.5(1) SU7	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager 11.5.1.17900-52</li> <li>• IM and Presence Service 11.5.1.13900-57</li> </ul>
リリース 11.5(1) SU8	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager 11.5.1.18900-97</li> <li>• IM and Presence Service 11.5.1.18900-15</li> </ul>
リリース 11.5(1)SU9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager 11.5.1.21900-40</li> <li>• IM and Presence Service 11.5.1.21900-5</li> </ul>
リリース 11.5(1)SU10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager 11.5.1.22900-28</li> <li>• IM and Presence Service 11.5.1.22900-6</li> </ul>
リリース 11.5(1)SU11	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager 11.5.1.23900-30</li> <li>• IM and Presence Service 11.5.1.23900-3</li> </ul>

## Unified CM と IM and Presence Service 間のバージョンの互換性

バージョンの互換性は、IM and Presence の展開タイプによって異なります。次の表は、オプションおよびテレフォニーの導入と IM and Presence 展開との間でリリースの不一致がサポートされるかどうかの概要を示しています。リリースの不一致がサポートされる場合、リリースの異なる Unified Communications Manager テレフォニー展開と IM and Presence 展開を展開できます。

表 1: Unified Communications Manager と IM and Presence Service 間のバージョンの互換性

展開タイプ	リリースの不一致	説明
IM and Presence の標準展開	サポート対象外	Unified Communications Manager と IM and Presence Service は同じクラスタに存在し、同じリリースを実行する必要があります。つまり、リリースの不一致はサポートされません。

展開タイプ	リリースの不一致	説明
中央集中型 IM and Presence の展開	サポートあり	<p>IM and Presenceの展開とテレフォニーの展開は異なるクラスタに存在し、異なるリリースを実行します。つまり、リリースの不一致はサポートされます。</p> <p>(注) IM and Presence 中央クラスタには、データベースとユーザのプロビジョニングのためのスタンドアロン Unified CM Publisher ノードを含みます。この非テレフォニーノードは、IM and Presence Service と同じリリースで実行される必要があります。</p> <p>(注) リリース 11.5(1)SU4 以降では、IM and Presence Service の中央集中型の展開がサポートされています。</p>

## アップグレードパス

このリリースの Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service は、仮想化展開のみをサポートします。ただし、アップグレード前のシステムは仮想マシンで実行されている場合と実行されていない場合があります。アップグレードパスはアップグレード前の展開タイプによって異なります。アップグレードパスは、両方のアップグレード前の状態で異なります。アップグレード前の展開タイプに応じて、適用するアップグレードパスを選択します。

- アップグレード前の展開が Cisco メディア コンバージェンス サーバー 7800 シリーズ ハードウェアで実行されている
- アップグレード前の展開が仮想マシンで実行されている

## Cisco メディア コンバージェンス サーバー ハードウェアでアップグレード前の展開が実行されている

サーバーハードウェアで Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service のリリース 11.5(x) を直接実行することはできません。これらのアプリケーションは仮想マシンで実行する必要があります。次の表は、Cisco 7800 シリーズ メディア コンバージェンス サーバー (MCS 7800) ハードウェア上でアップグレード前のバージョンが実行されている展開でサポートされている移行パスを示しています。仮想マシンで実行されているシステムに移行する必要があります。以下のサポートされている移行パスは、すべて物理/仮想 (P2V) の移行です。また、「11.5(x)」には 11.5(1) 以降の SU リリースが含まれることにも注意してください。



(注) 次の表は、以下の例外を除く、MCS 7800 シリーズ サーバでサポートされているアップグレードパスを示しています。

- MCS 7816-C1 for Business Edition 3000 (BE3000)
- MCS 7828 for Business Edition 5000 (BE5000)

PCD の移行は、BE3000 および BE5000 の導入ではサポートされません。これらの製品のアップグレードには新規インストールをお勧めします。

表 2: アップグレード前のバージョンが Cisco MCS 7800 シリーズ ハードウェアで実行されている場合のアップグレードパス

送信元	送信先	サポートされているメソッド
<b>Unified Communications Manager のアップグレード</b>		
Unified CM (MCS 7800 Series HW 上) 6.1(5)、7.1(3)、7.1(5)、8.x、9.x	11.5(x)	PCD の移行
<b>IM and Presence Service のアップグレード</b>		
Cisco Unified Presence (MCS 7800 Series HW 上) 8.5(4)、8.6(3)、8.6(4)、8.6(5)	IM and Presence Service 11.5(x)	PCD の移行
IM and Presence Service (MCS 7800 Series HW 上) 9.0(x)、9.1(x)	11.5(x)	PCD の移行

## アップグレード前の展開が仮想マシンで実行されている

次の表は、アップグレード前のバージョンが仮想マシンで実行されている場合にサポートされるアップグレードパスと移行パスを示しています。以下のサポートされるアップグレードおよび移行パスは、すべてバーチャル-バーチャル (V2V) です。特に明記されていない限り、各パス内のサービスアップデート (SU) はサポートされています。また、「11.5(x)」には 11.5(1) 以降の SU リリースが含まれることにも注意してください。

表 3: アップグレード前のバージョンが仮想マシンで実行されている場合のアップグレードパス

送信元	送信先	サポートされているメソッド
<b>Unified Communications Manager のアップグレード</b>		
Unified CM 8.6(x)	11.5(x)	Cisco Unified OS の管理 (直接更新) PCD の移行 PCD のアップグレード (直接更新)
Unified CM 9.0(x)	11.5(x)	PCD の移行 PCD のアップグレード (直接更新)
Unified CM 9.1(x)	11.5(x)	Cisco Unified OS の管理 (直接更新) PCD の移行 PCD の移行 (直接更新)

送信元	送信先	サポートされているメソッド
Unified CM 10.0(x)	11.5(x)	PCD の移行 PCD のアップグレード (直接標準)
Unified CM 10.5(x)、11.0(x)、11.5(x)	11.5(x)	Cisco Unified OS Admin (直接標準) PCD の移行 PCD の移行 (直接標準)
<b>IM and Presence Service のアップグレード</b>		
Cisco Unified Presence 8.5(4)	IM and Presence 11.5(x)	PCD の移行
Cisco Unified Presence 8.6(3)、8.6(4)、8.6(5)	IM and Presence 11.5(x)	PCD の移行 PCD のアップグレード (直接更新)
Cisco Unified Presence 8.6(x)	IM and Presence 11.5(x)	Cisco Unified OS Admin
IM and Presence 9.0(x)	11.5(x)	PCD の移行 PCD のアップグレード (直接更新)
IM and Presence 9.1(x)	11.5(x)	PCD の移行 PCD のアップグレード (直接標準) Cisco Unified OS の管理 (直接更新)
IM and Presence 10.0(x)、10.5(x)、11.0(x)、11.5(x)	11.5(x)	PCD の移行 PCD のアップグレード (直接標準) Cisco Unified OS の管理 (直接標準)

## 必須 COP ファイル

次の表は、COP ファイルが必要なアップグレードパスを示しています。Cisco Unified OS 管理インターフェイスを使用してアップグレードを開始する前、または Prime Collaboration Deployment (PCD) ツールを使用してアップグレードまたは移行を開始する前に、各ノードに COP ファイルをインストールする必要があります。PCD を使用している場合は、アップグレードを開始する前に COP ファイルの一括インストールを実行できます。

表 4: アップグレードの COP ファイル要件

送信元	送信先	COP ファイル
<b>Unified Communications Manager のアップグレード</b>		

送信元	送信先	COP ファイル
Unified CM 8.6(x)、 9.1(x)	11.5(x)	更新アップグレード。必須 COP ファイル： <ul style="list-style-type: none"> <li>• ciscoxm.version3-keys.cop.sgn</li> </ul> オプションの COP ファイル： <ul style="list-style-type: none"> <li>• ciscoxm.vmware-disk-size-reallocation-&lt;latest_version&gt;.cop.sgn</li> <li>• ciscoxm.free_common_space_v&lt;latest_version&gt;.cop.sgn</li> </ul>
Unified CM 10.5(x)、 11.0(x)、11.5(x)	11.5(x)	標準アップグレード：COP ファイルは不要
<b>IM and Presence Service のアップグレード</b>		
Cisco Unified Presence 8.5(4) ~ 8.6(1)	IM and Presence 11.5(x)	更新アップグレード。以下の COP ファイルが必要： <ul style="list-style-type: none"> <li>• cisco.com.cup.refresh_upgrade_v&lt;latest_version&gt;.cop</li> <li>• ciscoxm.version3-keys.cop.sgn</li> </ul>
IM and Presence 9.1(x)	11.5(x)	更新アップグレード。以下の COP ファイルが必要： <ul style="list-style-type: none"> <li>• ciscoxm.version3-keys.cop.sgn</li> </ul>
IM and Presence 10.5(x)、11.0(x)、 11.5(x)	11.5(x)	標準アップグレード：COP ファイルは不要

## 11.5(1)SU9 のアップグレード制限

アップグレード前のバージョンが Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service のリリース 11.5(1)SU9 の場合、リリース 12.0(x)、12.5(1)、12.5(1)SU1、または 12.5(1)SU2 にアップグレードすることはできません。アップグレードできる最小リリースは 12.5(1)SU3 です。

## Unified Communications Manager の互換性情報

### シスコ コラボレーション システム アプリケーション

Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service のこのリリースは、シスコ コラボレーション システム リリース 11.5 の一部であり、シスコ コラボレーション システム リリース 11.5 の一部である他のシスコ コラボレーション アプリケーションおよびバージョンと互換性があります。

リリース 11.5 を構成するシスコ コラボレーション アプリケーションおよびバージョンの完全なリストについては、[https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/uc\\_system/unified/communications/system/Compatibility/CSR-Compatibility-Matrix-InteractiveHTML.html](https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/Compatibility/CSR-Compatibility-Matrix-InteractiveHTML.html) にある『Cisco Collaboration Systems Release Compatibility Matrix』を参照してください。

## Cisco エンドポイントのサポート

すべてのサポート終了および販売終了のお知らせは、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/eos-eol-listing.html> にリストされています。

### サポートされる Cisco エンドポイント

次の表に、このリリースの Cisco Unified Communications Manager でサポートされている Cisco エンドポイントを示します。販売終了 (EOS) またはソフトウェアメンテナンス終了になったエンドポイントについては、EOS リンクをクリックしてサポートの詳細を表示してください。



(注) 「廃止された電話機モデル」リストで指定されていない限り、ソフトウェアメンテナンスが終了した電話機モデルは、最新の Unified Communications Manager リリースで引き続きサポートされます。ただし、そのリリースに関連する新しい Unified Communications Manager またはファームウェアの機能は利用できません。

表 5: サポートされる Cisco エンドポイント

デバイスシリーズ (Device Series)	デバイス モデル
Cisco Unified SIP Phone 3900 シリーズ	Cisco Unified SIP Phone 3905
Cisco Unified IP Phone 6900 シリーズ	Cisco Unified IP Phone 6901
Cisco IP Phone 7800 シリーズ	Cisco IP 電話 7811 Cisco IP 電話 7821 Cisco IP Phone 7841 Cisco IP Phone 7861 Cisco IP Conference Phone 7832
Cisco Unified IP Phone 7900 Series	Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7915 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7916 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone 7942-G - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone 7945-G - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone 7962-G - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone 7965-G - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone 7975-G - <a href="#">EOS 通知</a>



デバイスシリーズ (Device Series)	デバイス モデル
Cisco IP Phone 8800 シリーズ	Cisco IP Phone 8811、8831、8841、8845、8851、8851NR、8861、8865、8865NR Cisco Wireless IP Phone 8821、8821-EX - <a href="#">EOL 通知</a> Cisco Unified IP Conference Phone 8831 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco IP 会議用電話 8832
Cisco Unified IP Phone 8900 シリーズ	Cisco Unified IP Phone 8945 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone 8961 - <a href="#">EOS 通知</a>
Cisco Unified IP Phone 9900 シリーズ	Cisco Unified IP Phone 9951 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Unified IP Phone 9971 - <a href="#">EOS 通知</a>
Cisco Jabber	Android 版 Cisco Jabber Cisco Jabber for iPhone and iPad Mac 版 Cisco Jabber Windows 版 Cisco Jabber Cisco Jabber Softphone for VDI - Windows (旧 Cisco Virtualization Experience Media Edition for Windows) Cisco Jabber Guest Cisco Jabber ソフトウェア開発キット Cisco Jabber for Tablet
Cisco Headset Series	Cisco Headset 520 Cisco Headset 530 Cisco Headset 560
Cisco IP Communicator	Cisco IP Communicator - <a href="#">EOS 通知</a>

デバイスシリーズ (Device Series)	デバイス モデル
Webex	Webex アプリ Webex Room Phone Webex Desk Webex Desk Hub Webex Desk Pro Webex Desk Limited Edition Board 55、55S、70、70S、85、85S Webex Room Panorama Webex Room 70 Panorama Room 70 Room 70 G2 Room 55 Room 55 Dual Room Kit Pro Room Kit Plus Room Kit Room Kit Mini Webex Room USB
Webex Wireless Phone 800 Series	Webex Wireless Phone 840 Webex Wireless Phone 860
Webex Meetings	iPad および iPhone 用 Webex Meetings Webex Meetings for Android
Cisco アナログ テレフォニー アダプタ	Cisco ATA 190 Series アナログ電話アダプタ - <a href="#">EOS/EOL 通知</a> Cisco ATA 191 シリーズ アナログ電話アダプタ
Cisco DX シリーズ	Cisco Webex DX70 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco Webex DX80 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco DX650 - <a href="#">EOS 通知</a>
Cisco TelePresence IX5000	Cisco TelePresence IX5000
Cisco TelePresence EX シリーズ	Cisco TelePresence System EX90 - <a href="#">EOS 通知</a>

デバイスシリーズ (Device Series)	デバイス モデル
Cisco TelePresence MX シリーズ	Cisco TelePresence MX200 G2 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco TelePresence MX300 G2 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco TelePresence MX700D - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco TelePresence MX800S - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco TelePresence MX800D - <a href="#">EOS 通知</a>
Cisco TelePresence SX シリーズ	Cisco TelePresence SX10 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco TelePresence SX20 - <a href="#">EOS 通知</a> Cisco TelePresence SX80 - <a href="#">EOS 通知</a>

Cisco エンドポイントごとに使用されるファームウェアバージョンのリストについては、[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/uc\\_system/unified/communications/system/Compatibility/CSR-Compatibility-Matrix.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/Compatibility/CSR-Compatibility-Matrix.html) にある『Cisco Collaboration Systems Release Compatibility Matrix』を参照してください。

電話機をサポートするデバイスパックの互換性に関する詳細は、[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/compat/matrix/CMDP\\_BK\\_CCBDA741\\_00\\_cucm-device-package-compatibility-matrix.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/matrix/CMDP_BK_CCBDA741_00_cucm-device-package-compatibility-matrix.html) にある『Cisco Unified Communications Manager Device Package Compatibility Matrix』を参照してください。

## サポート終了日

次の表は、サポート終了日は過ぎたがまだ廃止されていないCisco エンドポイントを示しています。廃止されたエンドポイントとは異なり、これらのエンドポイントは引き続き最新リリースで展開できますが、積極的にサポートされておらず、テストもされておらず、動作しない可能性があります。

リンクをクリックして、各エンドポイントのサポートのお知らせを表示してください。

すべてのサポート終了およびサポート終了製品については、[https://www.cisco.com/c/en\\_ca/products/eos-eol-listing.html](https://www.cisco.com/c/en_ca/products/eos-eol-listing.html) を参照してください。

表 6: サポートを終了した Cisco エンドポイント

サポートを終了した Cisco エンドポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified SIP Phone <a href="#">3911</a>、<a href="#">3951</a></li> <li>• Cisco Unified IP Phone <a href="#">6911</a>、<a href="#">6921</a>、<a href="#">6941</a>、<a href="#">6945</a>、<a href="#">6961</a>、<a href="#">7906G</a>、<a href="#">7911G</a>、<a href="#">7931G</a>、<a href="#">7940G</a>、<a href="#">7941G</a>、<a href="#">7960G</a>、<a href="#">7961G</a>、<a href="#">8941</a></li> <li>• Cisco Unified IP Phone Expansion Module <a href="#">7925G</a>、<a href="#">7925G-EX</a>、<a href="#">7926G</a></li> <li>• Cisco Unified IP Conference Station <a href="#">7935</a>、<a href="#">7936</a>、<a href="#">7937G</a></li> <li>• Cisco TelePresence <a href="#">EX60</a></li> <li>• Cisco TelePresence <a href="#">MX200-G1</a>、<a href="#">MX200-G2</a>、<a href="#">MX300-G1</a>、<a href="#">MX300-G2</a></li> <li>• Cisco TelePresence <a href="#">500-32</a>、<a href="#">500-37</a>、<a href="#">1000 MXP</a>、<a href="#">1100</a>、<a href="#">1300-65</a>、<a href="#">1300-47</a>、<a href="#">3000 Series</a></li> </ul>

## 非推奨の電話のモデル

次の表に、このリリースの Unified Communications Manager で廃止されたすべての電話機モデルと、電話モデルが最初に廃止された Unified CM リリースを示します。たとえば、リリース 11.5 (1) で最初に廃止された電話機モデルは、すべてのリリース (12.x リリースを含む) では廃止されています。

これらの電話機モデルのいずれかを使用している場合、現在のリリースの Unified Communications Manager にアップグレードすると、その電話はアップグレード後に機能しなくなります。

表 7: このリリースで廃止された電話機モデル

このリリースで廃止された電話のモデル	最初に廃止になった Unified CM
<ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco IP 電話 12 S</li><li>• Cisco IP 電話 12 SP</li><li>• Cisco IP 電話 12 SP+</li><li>• Cisco IP 電話 30 SP+</li><li>• Cisco IP 電話 30 VIP</li><li>• Cisco Unified IP 電話 7902G</li><li>• Cisco Unified IP 電話 7905G</li><li>• Cisco Unified IP 電話 7910</li><li>• Cisco Unified IP 電話 7910G</li><li>• Cisco Unified IP 電話 7910+SW</li><li>• Cisco Unified IP 電話 7910G+SW</li><li>• Cisco Unified IP 電話 7912G</li><li>• Cisco Unified ワイヤレス IP 電話 7920</li><li>• Cisco Unified IP Conference Station 7935</li></ul>	11.5 (1) 以降のリリース

詳細については、[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/rel\\_notes/11\\_5\\_1/fieldNotice/cucm\\_b\\_fn-deprecated-phone-models-1151.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/rel_notes/11_5_1/fieldNotice/cucm_b_fn-deprecated-phone-models-1151.html)にある「*Field Notice: Cisco Unified Communications Manager Release 11.5(x) does not support some deprecated phone models*」を参照してください。

詳細については、[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/rel\\_notes/12\\_0\\_1/deprecated\\_phones/cucm\\_b\\_deprecated-phone-models-for-1201.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/rel_notes/12_0_1/deprecated_phones/cucm_b_deprecated-phone-models-for-1201.html)でフィールド通知『*Cisco Unified Communications Manager Release 12.0(x) does not support some deprecated phone models*』を参照してください。

## 非推奨の電話機を含むアップグレード

以前のリリースのこれらの電話機のいずれかを使用していて、このリリースにアップグレードする場合は、次の操作を実行します。

1. ネットワーク内の電話機がこのリリースでサポートされているかどうかを確認します。
2. サポートされていない電話機を確認します。
3. サポートされていない電話機の場合は、電話の電源を切り、ネットワークから電話を切断します。
4. この電話機のユーザに、サポートされる電話機をプロビジョニングします。次のメソッドを使用して、古いモデルから新しいモデルの電話機に移行することができます。
  - [Migration FX ツール](#)
5. ネットワーク内のすべての電話機がこのリリースでサポートされたら、システムをアップグレードします。



(注) 非推奨の電話機は、アップグレード後に削除することもできます。アップグレードの完了後に管理者が Unified Communications Manager にログインすると、システムから非推奨の電話機について管理者に通知する警告メッセージが表示されます。

## ライセンスング

非推奨の電話機とサポートされている電話機を交換するために、新しいデバイス ライセンスを購入する必要はありません。システムから廃止された電話機を削除するか、新しい Unified Communications Manager に切り替えて非推奨の電話機が登録できなくなると、新しい電話機のデバイス ライセンスが使用可能になります。

## 仮想化の要件

このリリースの Unified Communications Manager および IM and Presence Service は、仮想化展開のみをサポートします。Cisco メディア コンバージェンス サーバーでの展開はサポートされていません。仮想化要件については、次の表を参照してください。

表 8: 仮想化の要件

以下の仮想化の要件	詳細については、以下を参照してください。
Unified Communications Manager	Unified Communications Manager の仮想化要件については、 <a href="https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/virtualization-cisco-unified-communications-manager.html">https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/virtualization-cisco-unified-communications-manager.html</a> を参照してください。
IM and Presence Service	IM and Presence Service の仮想化要件については、 <a href="https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/virtualization-cisco-ucm-im-presence.html">https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/virtualization-cisco-ucm-im-presence.html</a> を参照してください。
Cisco Business Edition の展開	Cisco Business Edition などのコラボレーション ソリューション展開における Unified Communications Manager の仮想化要件については、 <a href="https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/cisco-collaboration-infrastructure.html">https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/cisco-collaboration-infrastructure.html</a> を参照してください。

## サポートされる LDAP ディレクトリ

次の LDAP ディレクトリがサポートされています。

- Microsoft Active Directory 2019 (サポートされている最小リリースは 11.5(1)SU7)
- Microsoft Active Directory 2016
- Microsoft Active Directory 2012
- Microsoft Active Directory 2008 R1 (32 ビット) /R2 (64 ビット)
- Microsoft Active Directory 2003 R1/R2 (32 ビット)
- Microsoft Active Directory アプリケーション モード 2003 R1/R2 (32 ビット)
- マイクロソフト ライトウェイト ディレクトリ サービス 2019 (サポートされている最小リリースは 11.5(1)SU7)
- Microsoft Lightweight Directory Services 2008 R1 (32 ビット) /R2 (64 ビット)
- Microsoft Lightweight Directory Services 2012
- Sun ONE Directory Server 7.0
- Open LDAP 2.3.39
- Open LDAP 2.4
- Oracle Directory Server Enterprise Edition 11gR1
- その他の LDAPv3 準拠ディレクトリ - Unified Communications Manager は、標準の LDAPv3 を使用してユーザのデータにアクセスします。DirSync で使用する LDAPv3 準拠のディレクトリ サーバーで supportedcontrol 属性が構成されていることを確認してください。(supportedcontrol 属性は、構成されている場合、pagecontrolsupport および persistentcontrolsupport サブ属性を返す場合があります。)

## SAML SSO のサポート

シスコ コラボレーション インフラストラクチャは、SAML 2.0 への準拠を主張する他の IdP と互換性がある可能性もありますが、シスコ コラボレーション ソリューション でテストされているのは次の IdP だけです。

- OpenAM 10.0.1
- Microsoft® Active Directory フェデレーション サービス 2.0 (AD FS 2.0)
- Microsoft Azure (サポートされる最小リリースは 11.5(1)SU8)
- PingFederate® 6.10.0.4
- F5 BIG-IP 11.6.0

## サポートされる Web ブラウザ

次の Web ブラウザがサポートされています。

- Windows 10 (64 ビット) を使用した Firefox

- Windows 10 (64 ビット) を使用した Chrome
- Windows 10 (64 ビット) を使用した Internet Explorer 11
- Windows 7 (64 ビット) を使用した Internet Explorer 11
- Windows 8.1 (64 ビット) を使用した Internet Explorer 11
- Windows 10 (32 ビット/64 ビット) を使用した Microsoft Edge ブラウザ
- MacOS (10.x) を使用した Safari



(注) サポートされているすべての Web ブラウザで最新バージョンを使用することをお勧めします。

## SFTP サーバのサポート

内部テストでは、Cisco が提供し、Cisco TAC がサポートする Cisco Prime Collaboration Deployment (PCD) 上で SFTP サーバを使用します。SFTP サーバ オプションの概要については、次の表を参照してください。

表 9: SFTP サーバのサポート

SFTP サーバ	サポートの説明
Cisco Prime Collaboration Deployment の SFTP サーバ	<p>このサーバはシスコが提供およびテストした SFTP サーバのみであり、Cisco TAC がサポートします。</p> <p>バージョンの互換性は、使用している Emergency Responder および Cisco Prime Collaboration Deployment のバージョンに依存します。バージョン (SFTP) または Emergency Responder をアップグレードする前に、『Cisco Prime Collaboration Deployment Administration Guide』を参照して、互換性のあるバージョンであることを確認してください。</p>
テクノロジー パートナーの SFTP サーバ	<p>これらのサーバはサードパーティが提供およびテストしたものです。バージョンの互換性は、サードパーティによるテストに依存します。テクノロジー パートナーの SFTP サーバまたは Unified Communications Manager をアップグレードする場合、テクノロジー パートナーのページで、互換性のあるバージョンを確認してください。</p> <p><a href="https://marketplace.cisco.com">https://marketplace.cisco.com</a></p>

SFTP サーバ	サポートの説明
他のサードパーティの SFTP サーバ	<p>これらのサーバはサードパーティが提供するものであり、Cisco TAC はこれらのサーバを正式にサポートしていません。</p> <p>バージョンの互換性は、SFTP バージョンと Emergency Responder バージョンの互換性を確立するためのベストエフォートに基づきます。</p> <p>(注) これらの製品がシスコでテストされていない場合、シスコはその機能を保証することができません。Cisco TAC は、これらの製品をサポートしていません。完全にテストされてサポートされる SFTP ソリューションとしては、Cisco Prime Collaboration Deployment またはテクノロジー パートナーの SFTP サーバを利用してください。</p>

## TLS 1.2 のサポート

Release 11.5(1)SU3 以降のリリースでは、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service は、セキュアなシグナリングのために TLS 1.2 の使用をサポートしています。このサポートには、安全性の低い TLS 1.0 および 1.1 接続の無効化が含まれるため、すべての TLS 接続に 1.2 が使用されます。構成の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド』を参照してください。

Cisco Collaboration 展開全体での TLS 1.2 サポートの詳細については、[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/uc\\_system/unified/communications/system/Compatibility/TLS/TLS1-2-Compatibility-Matrix.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/Compatibility/TLS/TLS1-2-Compatibility-Matrix.html) にある『シスコ コラボレーション製品の TLS 1.2 互換性マトリックス』を参照してください。

## API およびセキュア接続パッケージ

次の表に、このリリースでサポートされている API 開発パッケージとセキュア接続パッケージに関する情報を示します。

表 10: サポートパッケージ

パッケージタイプ	詳細
API 開発	<p>Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service は、アプリケーション開発用の OpenJDK をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リリース 11.5(1)SU5 および SU6 は、OpenJDK バージョン 1.7.0.181 を使用します。</li> <li>リリース 11.5(1)SU7 は、OpenJDK バージョン 1.7.0.231 を使用します。</li> <li>リリース 11.5(1)SU8 は、OpenJDK バージョン 1.7.0.251 を使用します。</li> <li>リリース 11.5(1)SU9 は、OpenJDK バージョン 1.8.0.262 を使用します。</li> <li>リリース 11.5(1)SU10 は、OpenJDK バージョン 1.8.0.275 を使用します。</li> <li>リリース 11.5(1)SU11 は、OpenJDK バージョン 1.8.0.275 を使用します。</li> </ul>



パッケージタイプ	詳細
SSL Connections	<p>セキュアソケットレイヤ（SSL）接続の場合、次のリリースはOpenSSLまたはCisco SSLのいずれかをサポートします。それぞれのバージョンについて、次のいずれかを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• リリース 11.5(1)SU7 は、OpenSSL 1.0.1e 57.el6 および CiscoSSL 1_0_2s_6_1_512 を使用します</li> <li>• リリース 11.5(1)SU8 は、OpenSSL 1.0.1e-58.el6_10 および CiscoSSL 1.0.2u.6.1.533 を使用します</li> <li>• リリース 11.5(1)SU9 は、OpenSSL 1.0.1e-58.el6_10 および CiscoSSL 1_0_2u_6_1_533 を使用します</li> <li>• リリース 11.5(1)SU10 は、OpenSSL 1.0.1e-59.el6_10 および CiscoSSL 1_0_2y_6_1_559 を使用します</li> <li>• リリース 11.5(1)SU11 は、OpenSSL 1.0.1e-59.el6_10 および CiscoSSL 1_0_2y_6_1_559 を使用します</li> </ul>
SSH クライアント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リリース 11.5(1)SU7 は、SSH 接続用の OpenSSH クライアント バージョン 5.3p1 123.el6_9 をサポートします。</li> <li>• リリース 11.5(1)SU8 は、SSH 接続用の OpenSSH クライアント バージョン 5.3p1-124.el6_10 をサポートします。</li> <li>• リリース 11.5(1)SU9 は、SSH 接続用の OpenSSH クライアント バージョン 5.3p1-124.el6_10 をサポートします。</li> <li>• リリース 11.5(1)SU10 は、SSH 接続用の OpenSSH クライアント バージョン 5.3p1-124.el6_10 をサポートします。</li> <li>• リリース 11.5(1)SU11 は、SSH 接続用の OpenSSH クライアント バージョン 5.3p1-124.el6_10 をサポートします。</li> </ul>



(注) システムにインストールされているパッケージの詳細については、`show packages active` CLI コマンドを実行してください。このコマンドとコマンドオプションの詳細については、『*Command Line Interface Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager でサポートされる暗号

Cisco Unified Communications Manager では、次の暗号がサポートされています。

表 11: TLS暗号のためのユニファイドコミュニケーションマネージャーの暗号サポート

アプリケーション/ プロセス	プロトコル	ポート	サポート対象の暗号方式
Cisco CallManager	TCP/TLS	2443	AES128-SHA: NULL-SHA :
DRS	TCP/TLS	4040	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-RSA-AES256-SHA384: ECDHE-RSA-AES256-SHA: DHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: DHE-RSA-AES256-SHA: AES256-GCM-SHA384: AES256-SHA ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-RSA-AES128-SHA256: ECDHE-RSA-AES128-SHA: DHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: DHE-RSA-AES128-SHA AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA ECDHE-RSA-DES-CBC3-SHA EDH-RSA-DES-CBC3-SHA DES-CBC3-SHA
Cisco Tomcat	TCP/TLS	8443 / 443	TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384: TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256: TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384: TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256: TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA: TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA: TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA: TLS_DHE_DSS_WITH_AES_256_CBC_SHA
Cisco CallManager	TCP/TLS	5061	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA: NULL-SHA:
Cisco CTL Provider	TCP/TLS	2444	AES256-SHA: AES128-SHA:
Cisco Certificate Authority Proxy Function	TCP/TLS	3804	AES256-SHA: AES128-SHA:
CTIManager	TCP/TLS	2749	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA:
シスコ信頼検証 サービス	TCP/TLS	2445	AES256-SHA: AES128-SHA:
Cisco Intercluster Lookup Service	TCP/TLS	7501	AES128-SHA:

アプリケーション/ プロセス	プロトコル	ポート	サポート対象の暗号方式
安全な設定ダウンロード (HAPROXY)	TCP/TLS	6971、6972	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA:
認証済みUDS接続 先の検索	TCP/TLS	9443	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384: AES256-SHA: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA:

## SSH でサポートされる暗号

表 12: SSH 暗号の暗号サポート

サービス	暗号/アルゴリズム
SSH サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号 : <ul style="list-style-type: none"> <li>aes128-ctr</li> <li>aes192-ctr</li> <li>aes256-ctr</li> <li>aes128-cbc</li> <li>aes192-cbc</li> <li>aes256-cbc</li> </ul> </li> <li>• MAC アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>hmac-sha1</li> </ul> </li> <li>• KEX アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>diffie-hellman-group14-sha1</li> <li>diffie-hellman-group-exchange-sha256</li> <li>diffie-hellman-group-exchange-sha1</li> </ul> </li> </ul>

サービス	暗号/アルゴリズム
SSH クライアント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号 : <ul style="list-style-type: none"> <li>aes128-ctr</li> <li>aes192-ctr</li> <li>aes256-ctr</li> <li>aes128-cbc</li> <li>3des-cbc</li> <li>aes192-cbc</li> <li>aes256-cbc</li> <li>rijndael-cbc@lysator.liu.se</li> </ul> </li> <li>• MAC アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>hmac-sha2-512</li> <li>hmac-sha2-256</li> <li>hmac-sha1</li> </ul> </li> <li>• KEX アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>diffie-hellman-group14-sha1</li> <li>diffie-hellman-group-exchange-sha256</li> <li>diffie-hellman-group-exchange-sha1</li> </ul> </li> </ul>
DRS クライアント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号 : <ul style="list-style-type: none"> <li>aes256-ctr</li> <li>aes256-cbc</li> <li>aes128-ctr</li> <li>aes128-cbc</li> </ul> </li> <li>• MAC アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>hmac-sha1</li> <li>hmac-sha2-256</li> <li>hmac-sha1-96</li> </ul> </li> <li>• KEX アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>ecdh-sha2-nistp256</li> <li>ecdh-sha2-nistp384</li> <li>ecdh-sha2-nistp521</li> <li>diffie-hellman-group14-sha1</li> <li>diffie-hellman-group-exchange-sha256</li> </ul> </li> </ul>

サービス	暗号/アルゴリズム
SFTP クライアント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号 : <ul style="list-style-type: none"> <li>aes128-ctr</li> <li>aes192-ctr</li> <li>aes256-ctr</li> <li>aes128-cbc</li> <li>aes192-cbc</li> <li>aes256-cbc</li> </ul> </li> <li>• MAC アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>hmac-sha2-512</li> <li>hmac-sha2-256</li> <li>hmac-sha1</li> </ul> </li> <li>• KEX アルゴリズム : <ul style="list-style-type: none"> <li>diffie-hellman-group14-sha1</li> <li>diffie-hellman-group-exchange-sha256</li> <li>diffie-hellman-group-exchange-sha1</li> </ul> </li> </ul>

## IM and Presence Service の互換性情報

### プラットフォームの互換性

IM and Presence Service は、Unified Communications Manager とプラットフォームを共有します。Unified Communications Manager の互換性に関するトピックの多くは、IM and Presence Service のサポート トピックを兼ねています。次の項目については、Unified Communications Manager の互換性の章を参照してください。

- 安全な接続
- 仮想化の要件
- 対応する Web ブラウザ

### 外部データベースのサポート

常設チャット、常設チャットの高可用性、メッセージアーカイバ、マネージドファイル転送など IM and Presence Service の多くの機能では、外部データベースを展開する必要があります。データベースのサポート情報については、『[IM and Presence Service のデータベースセットアップガイド](#)』を参照してください。

### サポートされる LDAP ディレクトリ サーバ

IM and Presence Service は次の LDAP ディレクトリ サーバと統合されます。

- Microsoft Active Directory 2012、2016、および 2019—AD2019 11.5(x) の最小リリースは 11.5(1)SU7 です。
- マイクロソフト ライトウェイト ディレクトリ サービス 2019 (サポートされている最小リリースは 11.5(1)SU7)
- Netscape Directory Server

- Sun ONE Directory Server 5.2
- Open LDAP 2.3.39
- Open LDAP 2.4

## フェデレーションのサポート

### SIP フェデレーション/SIP オープン フェデレーションのサポート

SIP オープン フェデレーションは、12.5(1)SU3 以降でサポートされます。

次の表に、サポートされている SIP 制御および SIP オープン フェデレーションの統合を示します。

表 13: サポートされている SIP 制御およびオープンフェデレーション

サードパーティ製システム	単一エンタープライズ ネットワーク* (ドメイン内またはドメイン間フェデレーション)		B2B (企業間) (ドメイン間フェデレーション)
	ダイレクトフェデレーション	Expressway 経由	Expressway 経由
Skype for Business 2015 (オンプレミス) **	Y	サポート対象外	Y (トラフィック分類)
Office 365 (クラウドで ホストされている Skype for Business を使用) **	N/A	N/A	Y (トラフィック分類)

\* 単一エンタープライズ ネットワークは、サポート値がそれぞれ同じであるため、分割されたドメイン内フェデレーションまたはドメイン間フェデレーションにすることができます。B2B (企業間) フェデレーションは常にドメイン間フェデレーションです。

\*\* オンプレミスの Skype for Business または Office 365 でホストされている Skype for Business とのフェデレーションの最小 IM and Presence Service リリースは、リリース 11.5(1)SU2 です。

### サポートされる XMPP フェデレーション

IM and Presence Service のこのリリースは、次のシステムとの XMPP フェデレーションをサポートしています。

- Cisco Webex Messenger
- IM and Presence Service リリース 10.x 以上
- その他の XMPP 準拠システム

## クラスタ間ピアリングのサポート

IM and Presence Service のこのリリースは、次の IM and Presence Service リリースでクラスタ間ピアリングをサポートします。

- リリース 10.x
- リリース 11.x
- リリース 12.x
- リリース 14 以降

## Microsoft Outlook カレンダー統合

IM and Presence Service は、オンプレミスの Exchange サーバーまたはホストされた Office 365 サーバーのいずれかとの Microsoft Outlook 予定表統合をサポートします。サポート情報については、以下の表を参照してください。



(注) サードパーティ製品のテクニカルサポートについては、それぞれの組織にお問い合わせください。

表 14: 予定表統合のサポート情報

コンポーネント	互換性のあるバージョン
Windows Server	<ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Server 2012 サービスパック (Standard)</li><li>• Windows Server 2016</li><li>• Windows Server 2019 - 11.x リリースでは、IM and Presence Service の最小リリースは 11.5(1)SU7 です。</li></ul>
Microsoft Exchange Server 2010	Microsoft Exchange 2010 (SP1) サービスパック
Microsoft Exchange Server 2013	Microsoft Exchange 2013 (SP1) サービスパック
Microsoft Exchange Server 2016	Microsoft Exchange 2016
Microsoft Exchange Server 2019	Microsoft Exchange 2019

コンポーネント	互換性のあるバージョン
Microsoft Office 365	<p>ホストされた Office 365 サーバーの展開の詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。</p> <p>Office 365 統合の IM and Presence Service の最小リリースは、リリース 11.5(1)SU3 です。</p> <p>(注) 2020 年 10 月の時点で、Microsoft は、Exchange Online でサポートされている認証メカニズムを、OAuth ベースの認証のみを使用するように変更しています。この変更後、IM and Presence Service と Office 365 間で予定表統合を展開する場合は、IM and Presence Service をリリース 12.5(1)SU2 にアップグレードする必要があります。この変更は、オンプレミスの Exchange サーバーとの統合には影響しません。</p>
Active Directory	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Server 2012 を使用した Active Directory 2012</li> <li>• Windows Server 2016 を使用した Active Directory 2016</li> <li>• Windows Server 2019 を使用した Active Directory 2019 - 11.x リリースでは、IM and Presence Service の最小リリースは 11.5(1)SU7 です。</li> </ul> <p>(注) Active Directory 内のユーザ名は、Unified Communications Manager に定義されたユーザ名と一致している必要があります。</p>
サードパーティの証明書または証明書サーバ	<p>証明書を作成するためには、これらのいずれかが必要です。</p> <p>(注) IM and Presence Service との Microsoft Exchange 統合は、RSA 1024 または 2048 ビットキー、および SHA1 および SHA256 署名アルゴリズムを使用する証明書をサポートします。</p>

## Microsoft Lync によるリモート通話コントロール

リモート通話コントロール (RCC) を使用すると、企業ユーザが Microsoft Lync (サードパーティ製デスクトップインスタントメッセージング (IM) アプリケーション) 経由で Cisco Unified IP Phone または Cisco IP Communicator を制御できるようになります。ユーザが Microsoft Lync クライアントにサインインすると、Lync サーバーは IM and Presence Service ノードを通じて Cisco Unified Communications Manager へ、Lync クライアントでのユーザのアクションに応じた通話機能のセットアップ、終了、保持を指示します。



(注) SIP フェデレーションとリモートコール制御 (RCC) は、同じ IM and Presence Service クラスタ上で連携しません。これは、SIP フェデレーションの場合、ユーザは Cisco IM and Presence サービスと Microsoft Lync/OCS の両方のライセンスを取得できないためですが、RCC の場合、ユーザは Cisco IM and Presence サービスと Microsoft Lync/OCS のライセンスを同時に取得する必要があります。





---

(注) RCC に使用される IM and Presence Service クラスタは、Jabber またはその他の IM and Presence Service 機能をサポートしていません。

---

## ソフトウェアの要件

IM and Presence Service と Microsoft Lync Server の統合には、次のソフトウェアが必要です。

- IM and Presence Service、現在のリリース
- IM and Presence Service Lync Remote Call Control プラグイン
- Cisco Unified Communications Manager、現在のリリース
- Microsoft Lync Server 2013 リリース 4.x、Standard Edition または Enterprise Edition
  - Lync Server コントロール パネル
  - Lync Server 展開ウィザード
  - Lync Server ログ ツール
  - Lync Server 管理シェル
  - Lync Server トポロジ ビルダー
- Microsoft 2013 Lync クライアント
- (オプション) アップグレードされた Skype for Business 2015 クライアント



---

(注) Skype for Business 2015 クライアントは Lync 2013 クライアントからアップグレード済みでなければならず、Lync 2013 サーバーに登録されている必要があります。

---

- (オプション) Cisco CSS 11500 Content Services Switch
- Microsoft ドメイン コントローラ
- Microsoft Active Directory
- DNS
- Certificate Authority : 認証局

## 構成

構成情報を含む詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-presence/products-installation-and-configuration-guides-list.html> の『Microsoft Lync Server を使用した、IM and Presence Service のリモート通話コントロール』を参照してください。

## IM and Presence Service でサポートされる暗号

次の暗号が IM and Presence Service でサポートされています。

表 15: Cisco ユニファイドコミュニケーションマネージャー IM & プレゼンス暗号サポートが TLS の暗号でサポートされています

アプリケーション/ プロセス	プロトコル	ポート	サポート対象の暗号方式
Cisco SIP Proxy	TCP/TLS	8083	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384: AES256-SHA: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA DES-CBC3-SHA
Cisco SIP Proxy	TCP/TLS	5061	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384: AES256-SHA: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA: DES-CBC3-SHA:
Cisco SIP Proxy	TCP/TLS	5062	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384: AES256-SHA: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256: AES128-SHA: DES-CBC3-SHA:
Cisco Tomcat	TCP/TLS	8443、443	ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384: AES256-SHA: ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256: DHE-RSA-AES128-SHA: AES128-SHA:
Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager	TCP/TLS	5269	AES128-GCM-SHA256 AES128-SHA AES128-SHA256 AES256-GCM-SHA384 AES256-SHA AES256-SHA256 CAMELLIA128-SHA CAMELLIA256-SHA ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256 ECDHE-ECDSA-AES128-SHA ECDHE-ECDSA-AES128-SHA256 ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384 ECDHE-ECDSA-AES256-SHA ECDHE-ECDSA-AES256-SHA384 ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256 ECDHE-RSA-AES128-SHA ECDHE-RSA-AES128-SHA256 ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384 ECDHE-RSA-AES256-SHA ECDHE-RSA-AES256-SHA384

アプリケーション/ プロセス	プロトコル	ポート	サポート対象の暗号方式
Cisco XCP Client Connection Manager	TCP/TLS	5222	AES128-GCM-SHA256 AES128-SHA AES128-SHA256 AES256-GCM-SHA384 AES256-SHA AES256-SHA256 CAMELLIA128-SHA CAMELLIA256-SHA ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256 ECDHE-ECDSA-AES128-SHA ECDHE-ECDSA-AES128-SHA256 ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384 ECDHE-ECDSA-AES256-SHA ECDHE-ECDSA-AES256-SHA384 ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256 ECDHE-RSA-AES128-SHA ECDHE-RSA-AES128-SHA256 ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384 ECDHE-RSA-AES256-SHA ECDHE-RSA-AES256-SHA384



【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



#### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。